

# ひょうご関係人口案内所

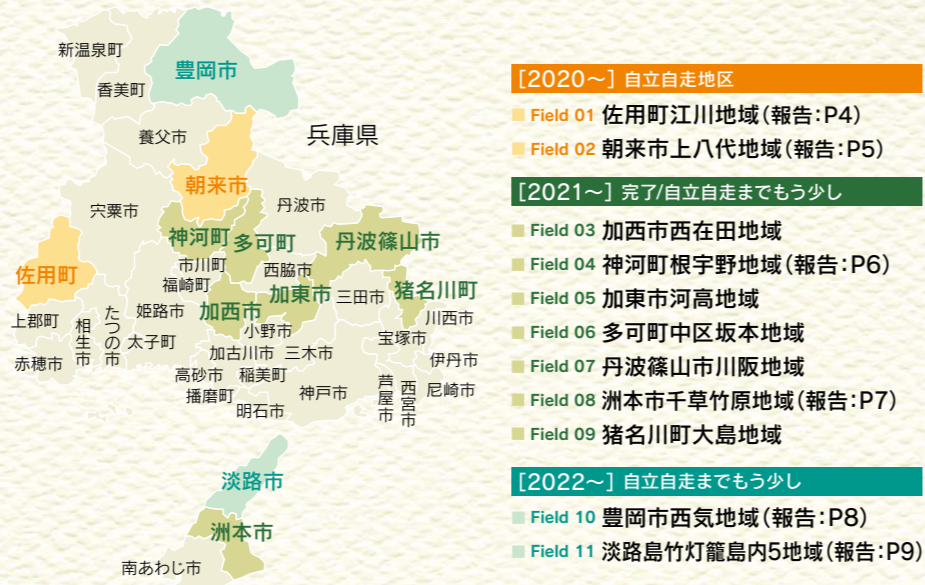
街中 人 ⇄ 人 里山

週末は「里」の人に  
なってみませんか？



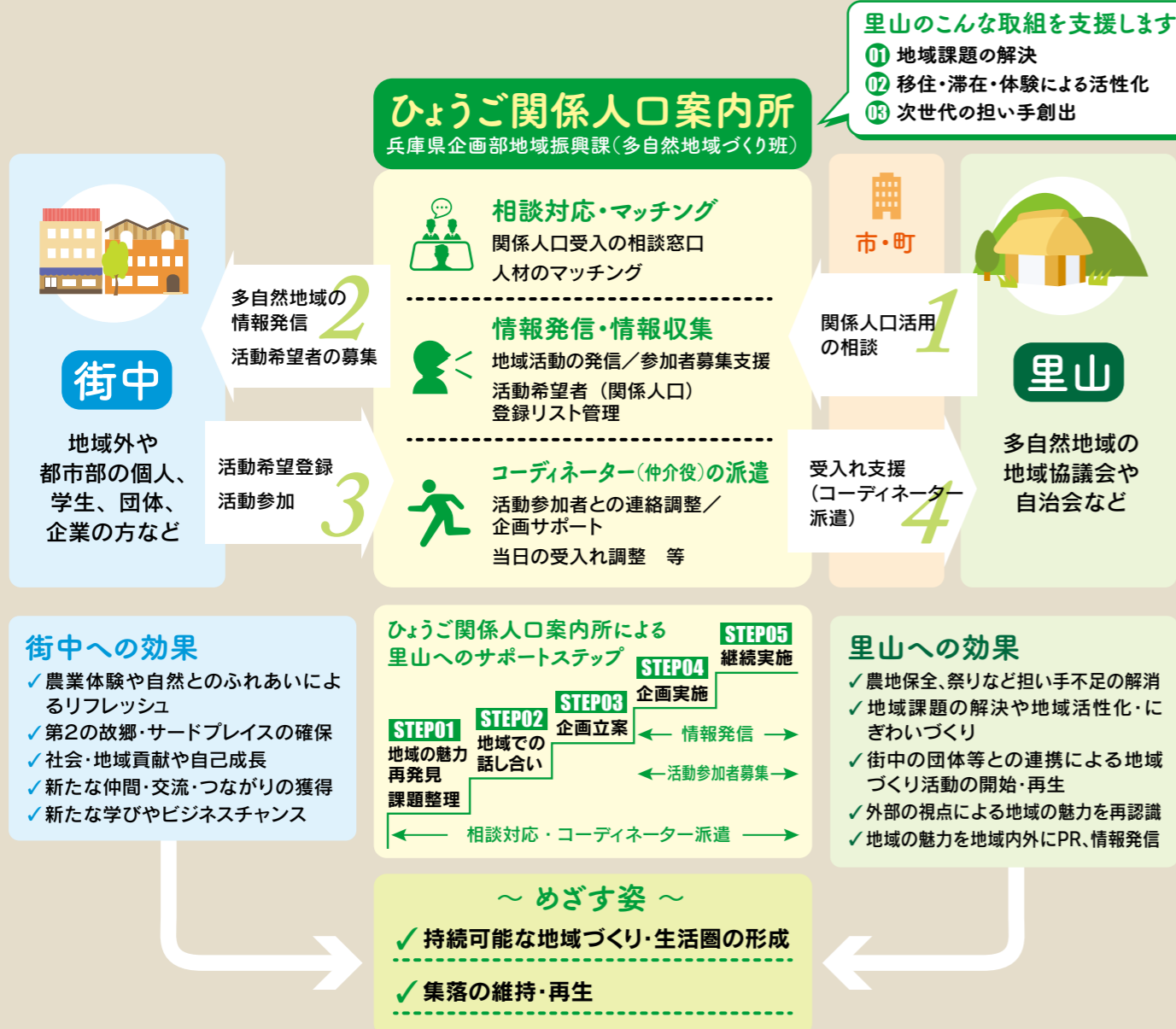
# 目次

- ひょうご関係人口案内所とは…………… P1
- データで見る「ひょうご関係人口案内所」… P2
- コーディネーター(CD)の紹介 …… P3
- 県内各地域の取組事例…………… P4
- 民間サービス連携事業の紹介…………… P10



## ひょうご関係人口案内所とは?

ひょうご関係人口案内所は、「街中」から「里山」への人の流れやつながりを創出し、持続可能な地域づくりを支援します

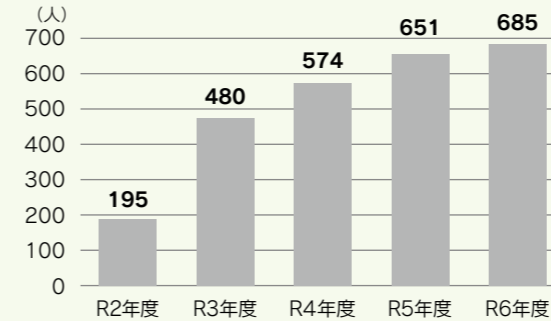


## データで見る「ひょうご関係人口案内所」

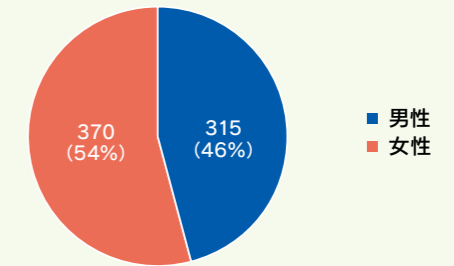
### ひょうご関係人口案内所の登録者の状況 (R6.12月時点)

現在の登録者数は685人であり、令和2年度から始まり増加傾向にあります。半数以上が女性で、40歳代・50歳代を中心にご登録いただいています。また、お住まいの傾向としては神戸・阪神地区に集中しており、中播磨・東播磨・西播磨と続き、大阪府や京都府など県外からの登録者もあります。

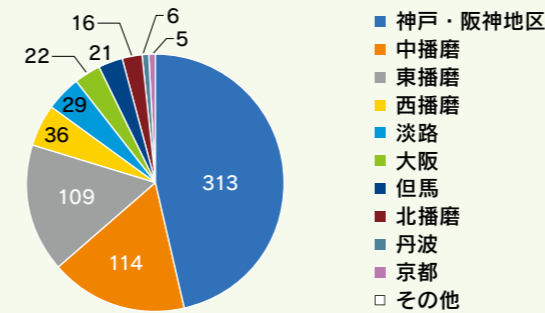
■ 登録者数の推移



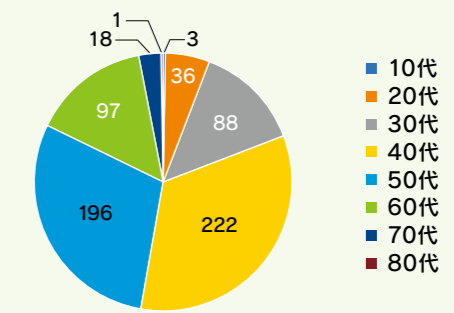
■ 登録者の性別傾向 ※無回答除く



■ 登録者の居住地の傾向 ※無回答除く

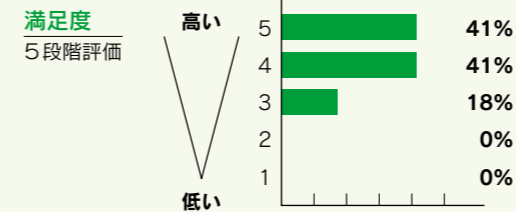


■ 登録者の年齢傾向 ※無回答除く



### アンケート調査結果の紹介 (R5年度 実施調査結果)

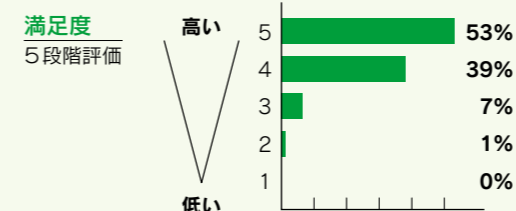
■ 地域住民(里山側)



〈 地域住民の意見 〉

- ・ 街中の人との交流、人と人とのつながり・関係性ができた
- ・ 地域では思いつかないアイデア、企画立案などをしてくれた
- ・ 地域の多様な可能性への気づきや新しい発見があった
- ・ 地域活動に無関心で興味がなかった住民の意識が変わってきた
- ・ 地域内外のいろいろな方々と力を合わせて地域づくりに取り組めた
- ・ プロジェクトに声をかけてくれる方、応援・協力してくれる方が増えた
- ・ ボランティアがたくさん参加してくれて、ゆず園の管理が継続できた

■ 関係人口(街中側)



〈 関係人口の意見 〉

- ・ 地域の方との交流が楽しい、家族と一緒に楽しめた、元気になった
- ・ いろいろな活動をされている人たちと出会えて良かった
- ・ 収穫作業など今まで経験したことがない貴重な体験ができた
- ・ 地域や作物への愛着がわいた、継続的な参加により充実感があった
- ・ 地域の方の温かさが伝わる距離感で地域のことや特産物を知ることができた
- ・ 農作物の多様な活用方法や写真の知識を学べた
- ・ LINEオープンチャットにより継続的な交流ができた

**青柳 順子**  
里山のこれまで培ってきた自然と文化と一緒に守り楽しんでいきましょう！

**鶴殿 瞳**  
兵庫県の県民のひとりとして、ちいきの皆さんの応援をし続けていきたいです。

**太田 卓**  
里山と街中互いの関わり代(しろ)を探して、貼り合わせていきます。

**小田垣 聡**  
地域活性化に繋がるよう、皆さんと一緒に考えていきたいです。

**澤地 武彦**  
里山の人たちのお困りごとに、少しでもお役に立てればと思います。

**高井 明子**  
日本の農業を大切にしたい！子供の食育に繋がりたい！兵庫を更に素敵に♪

**露本 和也**  
笑顔あふれる兵庫の未来に向かって、みなさん一緒に取り組んでいきましょう！！

**萩原 幸亮**  
地域の為になることを自分事として出来る範囲で取り組んでいきたいと思っています。

**松木 祥平**  
多くの方と繋がる地域活性的な場を作り、ご支援したいと思っています。

**みなもと 規士**  
兵庫の貴重な地域資源を里の人も街の人もみんなと一緒に未来に繋げていきましょう。

**義浦 慶子**  
里山と街中とのつながりや想いはずっと続いていくと思っています。

**伊藤 真美**  
「ご縁」と、楽しんで勝つ「楽勝」を掲げて、活動しています！

**大嶋 俊英**  
里が好き、街が好き、人が好き。つながりから生まれるワクワクした世界。

**岡田 英之**  
皆さんの大切な想いや言葉を一緒に見える化します。

**栗山 こまよ**  
さとまちにも「多様性」と「多文化共生」を！誰もが住みやすく、関わりやすい里山に！

**鈴木 克哉**  
獣害対策の専門性を活かして、地域活性化のビジョン形成をお手伝いします。

**辻 郁子**  
思いついたらやってみよう！さとまちに笑顔・元気をチャージ。

**野俣 智子**  
面白そう、楽しくなければ始まらない！

**林山 祐子**  
人と地域の出会いを大切にしています。

**的場 理恵子**  
里山の想い、地域課題を楽しく笑顔であふれる活動をしていきたいです。

**森下 航平**  
現役大学院生の視点で、都市部の若者を里山につないでいきます！

**吉山 昌子**  
里山と街中が繋がって生まれる新しいわくわくを応援します！

稲葉 久美子 平岡 尊宏

CDの活動風景



①：プログラム説明 ②：地元の輪の中での進行 ③：ツアーガイド支援 ④：調理加工の説明支援 ⑤：安全管理と見守り支援 ⑥：農作業の説明支援

西播磨 はりま里山ホップづくり

〔佐用町江川地域〕

街中 アンパサダー 里山

はりまグリーンラボ※ ホップファーム

江川地域づくり協議会 耕作放棄地の解消

※まちに緑を広げ、耕作放棄地を解消する社会貢献活動団体

江川地域づくり協議会では、「耕作放棄地」等の集落課題に対応するため、ビールの原料「ホップ」を育て、『はりまグリーンラボ』と交流体験しながら、耕作放棄地での「ホップ体験畑」に取り組むとともに、江川のロゴ入りビールのブランディングに挑戦しています。

■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2021年度	45	51	3日(6/5、7/24、8/22)
2022年度	46	69	4日(5/14、6/4、7/23、8/27)
2023年度	49	90	5日(5/21、6/3、7/23、8/26、10/28)
2024年度	53	84	5日(5/11、6/16、7/21、8/24、10/5)



①：ホップの管理作業 ②：ホップの収穫作業 ③：収穫したホップ ④：江川スターゲートイベントでのビール販売支援 ⑤：共同でホップファーム看板を製作

◆コーディネーターの考える成果と今後の展望◆

「耕作放棄地」の解決に向けスタートしたホップファームづくり。地域からの提案でホップファームの看板づくりを一緒に行うことで「里山」と「街中」の交流を深めることができました。これからも収穫量増につながる持続可能な取組を進めていきます。

自立自走となるための Point!

地域でどんな活動にしたいか目標を明確にしてコーディネートすること、LINEオープンチャットを活用して街中の方へ参加をよびかけること、また、地域と街中の交流が持続する関係性をつくるのがポイントだと思います。

地域の方からの声 佐用町江川地域づくり協議会

街中の方と耕作放棄地を活用したホップ畑の作業を重ねた結果、地域のイベントであるスターゲート(マーケット・星空観察など)やふれあい喫茶、姫路で開催したイベントなどホップ畑での作業以外のイベントにも顔を出していただけるようになりました。街中の方とは地域住民のような交流ができており、頼もしい助っ人だと実感しています。これからも、さらに絆を深めていきたいと思っています。本当に有難うございます。

但馬 ひょうご安心ブランド 枝豆保全ボランティア

**[ 朝来市上八代地域 ]**

街中 里山

ボランティア

上八代区、上八代営農組合  
黒大豆枝豆への人手

上八代区、上八代営農組合では、ひょうご安心ブランドの黒大豆枝豆の生産が盛んです。そのブランドを維持する人手の確保が困難になっていることから、街中からのボランティアの受入機会を増やし、人手不足を解消します。

■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2021年度	24	58	7日(7/21、7/30、8/7、8/11、10/23、10/30、11/6)
2022年度	28	80	7日(7/16、7/30、8/6、10/22、10/29、11/3、12/3)
2023年度	24	77	7日(7/16、7/30、8/6、8/11、10/22、10/29、11/3)
2024年度	20	68	5日(7/20、8/3、10/19、10/26、11/2)



①:土寄せ作業 ②:収穫作業 ③:さや落とし作業 ④・⑤:黒大豆枝豆の選別作業

❖ コーディネーターの考える成果と今後の展望 ❖

朝来市上八代地域の活動は、自立自走を始めています。活動目的の「人手不足を解消する」ことに効果が出ており、売上に繋がっていることから実現しました。収穫から商品化のお手伝いだけでなく、販売支援も手伝うようになりました。今後は、参加者数の安定と増加、幅広い層の参加により、より活発な活動を目指します。

**自立自走となるための Point!**

上八代営農組合では、目的を「枝豆の収穫・販売量を増やすこと」と念頭におきながら、参加者に作業内容を明確に伝え、顔ぶれや人数、天候等を見て、柔軟な活動を行っています。その活動のなかで、地域の状況、昨今の時勢などの話題をざっくばらんに地域の方と参加者が会話することで、リピーターも増えています。

**地域の方からの声**  
上八代営農組合

朝来市上八代地域は、わずかに20戸ほどの山間部の小さい集落です。毎年、夏と秋に2種類ずつの枝豆を合計3haほど作り、地域全体を盛り上げるための作業を行っています。地域の団体とボランティア活動で来られる方たちとの交流で成り立っています。あなたも一員になって枝豆の収穫を体験しませんか？

中播磨 地元産品ゆずの保全及び販売を見据えたPR

**[ 神河町根宇野地域 ]**

街中 里山

ボランティア

根宇野区・根宇野柚子生産組合  
ゆずの担い手の確保

根宇野区、根宇野柚子生産組合では、地域の高齢化と共に担い手不足が深刻化し、販売(卸)先の縮小と廉価で取引されていることが課題となっています。ボランティアによる作業支援や、販売を見据えたPRを行います。

■参加者数

	里山	街中	活動日(年度毎)
2021年度	12	57	3日(10/9、11/7、11/14)
2022年度	10	38	3日(10/1、11/6、11/20)※11/13雨順延
2023年度	12	33	3日(11/5、11/12、2/18)
2024年度	13	53	3日(11/3、11/9、11/10)※3月にもう1日を予定



①:全体写真 ②:ゆずの収穫ボランティアの様子 ③:パスタツアー企画チラシ ④:地元の高校生ボランティア ⑤:ゆず収穫作業の様子 ⑥:見守るゆずの実

❖ コーディネーターの考える成果と今後の展望 ❖

活動に賛同し例年お越しいただいている方に感謝しています。これはこれまでの成果の一つと感じております。企業に参画いただいたことや旅行商品の販売、収穫期以外の作業の実施、またイベントでのPRなど、継続的に活動でき、成果をあげることができました。

**自立自走となるための Point!**

間もなく自立自走が実現可能な状態ではあります。自治体の賛同や応援、地域内外への認知の向上、地域の機運の醸成などが自立自走およびその継続に必要なと感じています。そのためにも更なる関係人口および団体を拡大する活動を行い支援したいと考えています。

**地域の方からの声**  
根宇野ゆず生産組合

農協の組合員数が減る中で、ボランティアの皆様には1.8トンの収穫からゆずのPR、販売に至るまで様々なご協力をいただき大変助かりました。剪定作業もお手伝いいただき、案内所と共に継続的な活動や交流をしていきたいと考えております。

淡路 NEW 竹原体験ツアー

千草竹原町内会の地域資源を活用し「外部との継続的な交流」を創出します。街中との継続的な交流が生まれる「NEW 竹原体験ツアー」(アグリツーリズム)をつくりまします。



ナビゲーター招へいの様子

Table with 2 columns: Year (2021-2024) and Description of activities.

但馬 黒ぼく大根プロジェクト



西気明日のいしずえ会では、耕作放棄地の増加、観光等の減少、情報発信不足という課題を抽出し、大根を活かした交流体験を実施することにより、神鍋山の自然を現地で堪能し、神鍋高原の情報発信に取り組みます。

参加者数

Table showing participant numbers for 'Ryusan' (里山) and 'Town' (街中) across years 2022-2024.



①: オンライン交流会 ②: 里山ウェディング... ③・④: 体験ツアー(9/28) ※写真撮影: 竹内正樹 ⑤: 体験ツアーのチラシ ⑥・⑦: 体験ツアー(12/15)

①: 神鍋ダイコンの種まき作業 ②: 間引き作業 ③: 収穫した神鍋ダイコン ④: 収穫作業 ⑤: 里山メンバーとボランティアの皆さんで集合写真

コーディネーターの考える成果と今後の展望

長年にわたり、千草竹原町内会が築きあげてきた島内外の関係人口が一定数存在することが分かりました。引き続き、「柏原山」「植物」「環境」という豊かな地域資源を活かした取組により自立自走に向け、さらなる関係人口の増加を目指します。今後さらに多くの方に千草竹原地域の魅力を知ってもらうため、情報発信と事業主体間の将来的ビジョンの共有に力を入れて取り組んでいきます。

自立自走となるための Point! 地域資源を活用した収益事業の実施です。柏原山でのアクティビティと生業を組み合わせた体験ツアーや柏原山の保全も兼ねた植物由来の商品開発やワークショップを他団体・企業・大学・行政の連携で実施します。

地域の方からの声 洲本市千草竹原町内会 兵庫県立大学大学院・淡路景観園芸学校の澤田先生により、地域の日常風景であった柏原山のモミの木から、淡路島に生育するモミの木の標本が初めて採取されました。柏原山のモミの木は竹原地域のシンボルとして位置付けられることとなり、新たな地域資源を見出していた先生に驚きと賞賛を送りたいです。今後も継続的に地域のイベントを実施してくれる方を地域外から募り、より多くの方に竹原地域に関わってほしいです。

コーディネーターの考える成果と今後の展望

街中の皆さんに「スキー場」というイメージ以外にもお野菜がおいしく、それを地域ぐるみで育て盛り立てようということがしかりと伝わっていることが成果です。一方で、今後はこの輪をどのように広げていくか、深めていくかを考えていくことが次の課題となると思います。

自立自走となるための Point! 元々、地元で頑張られていた取組であったため、自分たちが出来る事をやっていく、という気概があったのがポイントだと考えます。またプロジェクトの課題は、地域内で話し合っ合意形成をしていくことです。地域で納得感が生まれ自立につながっていくのだと思います。

地域の方からの声 西気明日のいしずえ会 県北部に位置し、南部にお住まいのボランティアの皆さんにはご負担をおかけしていますが、この3年間支援いただき本当にありがたく思っています。10年前に僅か7名で始めたこの大根プロジェクトの活動が、この3年間で関係人口の方々の支援によりグッと拡がり、作業の軽減はもちろん神鍋のよさを知り広めて頂くいい機会ともなり、とても豊かな活動になったと感じています。

淡路 淡路島 竹灯籠物語

[ 淡路島竹灯籠島内5地域 ]

街中

里山



淡路島竹灯籠島内5地域\*では、放置竹林の課題に対して、来訪者(交流人口)の呼び込みを兼ねて過去に竹灯籠を開催してきました。コロナ禍を経て、令和5年度に再開し、関係人口の創出・拡大を図るため、地域内外の交流再生を目指します。地区全体の負担軽減を図るため、1年1地域開催としています。

\*生田、長澤、摩耶、五斗長、柳沢

参加者数

	参加者数		活動日(年度毎)
	里山	街中	
2023年度	60	84	7日(8/19、10/14、11/11、11/14、11/18、11/23、11/25)
2024年度	36	37	3日(10/19、11/9、11/10)



①: 竹灯籠設置作業(生田) ②: 竹灯籠の灯り(長澤) ③: 竹の伐採作業 ※写真撮影: 竹内正樹 ④: 竹灯籠と夜景(摩耶) ⑤: 竹灯籠の灯り(五斗長) ⑥: 竹灯籠の灯り(柳沢)

❖ コーディネーターの考える成果と今後の展望 ❖

5地域それぞれ人口減の程度や資力に差がありますが、竹灯籠開催を通じて培われた協力体制をもとに、竹灯籠以外にも相互に支援しながらイベント等の開催をしていける素地は出来たと思います。今後は、現代表からの世代交代が進んでも、協働が引き継がれる体制、地域間の資力の差をどのようにカバーしていけるかが課題と考えます。

自立自走となるための Point!

地域毎に人口、資力の差があるが、5地域共同体として全体をコーディネートできる人材育成、財源確保、各地域住民の巻き込み、関係人口の創出・拡大と活用が重要と思います。将来的に地区毎の特産品販売、さとまち他地域特産品出張販売、団体の有償受入れ、有料駐車場設置、地元事業者からの支援などによる自主財源確保が必要と考えます。

地域の方からの声 柳沢地区活性化協議会

数年ぶりに再開したコスモスまつりと同日開催でしたが、地域住民、竹灯籠の他4地域、県立の大学の学生の協力で準備、運営が滞りなくできました。竹灯籠に域外からの来場者をもっと確保できれば、さらに良かったと考えます。学生との交流では、若い力に希望をもてるほど、地域について熱心な質疑がありました。竹灯籠以外にも地域相互に協力することで、全地区活性化を目指します。

民間サービス連携事業の紹介

県内外や若者など新たな関係人口の獲得に向けて、高い企画力や集客力等を有する民間サービスと連携した関係人口創出・拡大事業を実施(詳しくお知りになりたい方は、兵庫県企画部地域振興課(078-362-4031)まで、お問合せください。)

おてつたび [お手伝い×旅]

期間: 2022年10月~12月  
実施市町: 朝来市・洲本市・三木市・加東市

目的

県外や若者をターゲットに関係人口の創出拡大を図るため、週末ボランティア以外の関わり方も選択肢として検討するための新たな取組として(株)おてつたびと連携し実施。

概要

朝来市、洲本市、三木市、加東市の5事業者が受入を行い、全国の10代から40代の計10名が参加。(約1週間地域に滞在)参加者は農作業や地域のボランティア活動を実施し、県外や若者の関係人口獲得につながりました。

事業者のお手伝い



現地ボランティア



播磨リビング新聞社 [広報紙掲載]

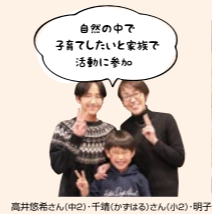
期間: 2024年3月  
実施市町: 明石市、加古川市、姫路市等

目的

ひょうご関係人口案内所の趣旨を広く伝えるとともに、街中の関心を高め、登録者を増やすために、(株)播磨リビング新聞社と連携し広告掲載を実施。

概要

『リビング姫路・加古川・明石版』へひょうご関係人口案内所のPR記事を掲載し、新規登録者を募集。姫路30名、加古川16名、明石14名の計60名の新規登録につながりました。



高井啓希さん(中2)・千晴(かずはる)さん(小2)・明子さん、枝豆の収穫作業。日常ではできない貴重な体験をすることができます

ゆず収穫後、全員で記念撮影。参加者の興やかな笑顔が印象的

園遊園地(ふじ)さん・亮嗣(あつひ)さん

※2024年3月  
リビング新聞掲載記事

HYOCON [地域×大学×企業のマッチングイベント]

期間: 2023年11月~2024年3月  
実施市町: 西脇市、養父市、神河町

目的

兵庫県では、多自然地域における様々な課題の解決に向け、大学が有する高い専門性やZ世代の感性・能力、また、企業のノウハウやテクノロジーを活用して行う地域づくり活動を支援しています。このため大学や企業の方たちに、地域を知ってもらい、連携を始めるきっかけの場づくりを実施。

概要

地域の方から大学や企業の方たちに、地域の魅力と課題をプレゼンテーションしてもらい、参加者全員で地域の課題を「自分ごと」として捉え、高速ブレインストーミングによる400以上のアイデア出しを行い、連携と課題解決へのきっかけづくりを図りました。



ふれあい旅プログラム [関東圏×関西圏大学生共同プロジェクト]

期間: 2024年5月~2024年11月  
実施市町: 洲本市

目的

兵庫県内外の新たな関係人口を獲得し、Z世代の学生たちと地域との連携を進めるため、大学生への訴求効果、企画力に実績のある(株)クリエイティブPRと連携しプログラムを実施。

概要

関西及び関東(首都圏)の大学生が協力して、洲本市を訪れ、地域に関わる人を増やすために、地域資源を活かした関係人口創出・拡大プログラムを開発。関西圏から9名、関東圏から6名の大学生が参加し、2泊3日のフィールドワークを実施し、発表と意見交換を行いました。(29大学、39名から応募あり)



## ひょうご関係人口案内所への お問い合わせはこちら

### 里山の方は？

- ①自治会や地域づくり協議会の場合は**各市町の担当部署**にお問い合わせください。
- ②個人や民間の場合は、以下の**QRコードのHP「さとまちガイドラボ」の「Question」**からお問い合わせください。

### 街中の方は？

以下の**QRコードのHP「さとまちガイドラボ」の「登録はこちらから」**より、ご登録頂くと、配信メールが届くようになります!(ご登録料は無料)

### 行政の方は？

各県民局・県民センター(担当部署)又は兵庫県庁(企画部地域振興課)にお問い合わせください。

## ひょうご関係人口案内所

発行：兵庫県企画部地域振興課  
神戸市中央区下山手通 5-10-1  
電話 . 078-362-4031

令和7年3月



ひょうご  
さとまちガイドラボ  
Sato-Machi Guide Lab

